

日本新生児成育医学会  
会員各位

株式会社メディカ出版  
代表取締役社長 長谷川 翔  
臨床事業部門責任者 山川 賢治

不正アクセス（ランサムウェア）被害による  
システム障害および情報漏えいに関するお詫びとご報告

日本新生児成育医学会の会員各位におかれましては平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さる3月13日（金）、弊社において社内システムに重大な障害が発生しました。外部専門機関を交えた調査により第三者によるランサムウェア攻撃を受けたことが判明いたしました。本件にともない、弊社が保管している個人情報、ならびにお取引に関する情報の一部が外部へ漏えいしたことが確認されました。これらの中には、弊社が事務局業務を受託して管理を行ってまいりました日本新生児成育医学会会員各位の個人情報（ご勤務先、ご自宅住所、メールアドレス等）と併せ、認定医情報、学会発行物の著者情報、セミナー参加者情報なども含まれます。会員各位に多大なるご迷惑とご心配をおかけする事態となりましたこと、深くお詫び申し上げます。

なお、年会費のクレジットカード決済につきましては、会員各位のクレジットカード情報を保持する仕組みではないため、本件による漏えいとはございません。

弊社ではシステム障害を検知した直後、被害の拡大を防ぐべく外部セキュリティ専門家と連携し、一連の不正アクセスに対する基本的な初動態勢をいち早く確立しました。警察への通報および相談、ならびに個人情報保護委員会への報告を実施するとともに、社内対策本部を設置し、外部専門機関の支援のもとで全容解明とシステムの早期復旧に全力で取り組んでおります。

併せて日本新生児成育医学会の学会資産の安全確認と保護を早急に実施いたしました。学会に携わる方々への早急な情報共有にも努めております。このたびの事態により事務局業務の遂行に遅延等の影響が生じることは避けられない状況ではございますが、最大限早期復旧に努めてまいります。弊社ではこのたびの事態を厳粛に受け止め、二度とこのような事態を起こさぬよう情報セキュリティ体制の抜本的な強化と再発防止に取り組む所存です。

会員各位におかれましては、いましばらくご不安ご不便をおかけすることになりますこと、重ねて深くお詫び申し上げます。

以上

【本件に対するお問い合わせ】

公益社団法人 日本新生児成育医学会 事務局  
jsnhd@jsnhd.or.jp